

水道用電動穿孔機

Type A-4

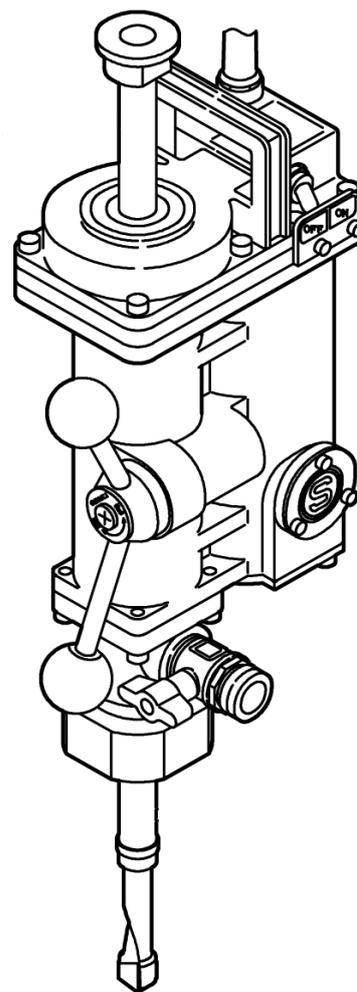
ホーク

取扱説明書

このたびは“水道用電動穿孔機ホーク”をお買い上げ頂きましてありがとうございます。本機の大きな特徴として、クラッチ機構を採用しておりますので、そのお取扱いに注意が必要となります。

ご使用に先立ち、この取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意・使用方法などについて十分ご理解の上、末永くご使用くださいますようお願い致します。

また、本書をいつでもご活用できますよう所定の場所に保管してください。



安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、絵表示をしております。その表示と意味は次のようになっております。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容、および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を守らずに誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的障害のみが発生する可能性が想定される内容を示しています。

シンボルマークの意味

	安全に係る注意情報を意味しています。
	禁止の行為であることをお知らせするものです。
	お守りいただく行為・内容をお知らせするものです。

[安全上のご注意]

 警告		
火傷の恐れあり 	<p>★定格を超える連続作業はおやめください。 ・本体の温度上昇により火傷をします。</p>	<input type="checkbox"/>
けがの恐れあり 	<p>★回転中のスピンドルに触れないでください。 ・スピンドルの回転により、巻き込まれる恐れがあります。</p> <p>★穿孔終了後のスピンドル上部に、顔・手足を使つけないでください。 ・スピンドルを解除した際、水圧によるスピンドルの急激な上昇があり危険です。</p> <p>★ドリル・カッターの刃に触れないでください。 ・カッター・ドリルは鋭利な刃物です。回転中は絶対に手を触れたり物を近づけたりしないでください。素手で触るとけがの恐れがあります。</p> <p>★ドリル・カッターを他の作業へ転用しないでください。 ・大きな事故につながります。</p> <p>★作業中以外は電源プラグを差し込まないでください。 ・不意の作動によりけがをする恐れがあります。</p>	 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
感電の恐れあり 	<p>★水中でのご使用はおやめください。 ・本機は密閉構造ですが、水没や強い雨の中でのご使用、濡れ雑巾でのお手入れはおやめください。</p> <p>★濡れた手でプラグに触らないでください。</p> <p>★アースは必ず取り付けてください。</p> <p>★電源プラグはコードを引っ張らずに、プラグを持って抜いてください。</p>	 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

 注意		
——モーターの焼損・漏電の原因になります——		
<p>★電源は必ず100Vでご使用ください。 ・100V以上でのご使用はモーターの回転が異常に高くなり危険です。 また100V以下ではモーターに負担がかかります。</p> <p>★2Kw以上の発電機は単独でお使いください。 ・他のものと発電機を共用しないでください。電圧降下を起こします。</p>	 	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
<p>★ネジ部の締め付けは確実に行ってください。 ・本体およびサドル付き分水栓の破損の原因となります。</p>		<input type="checkbox"/>

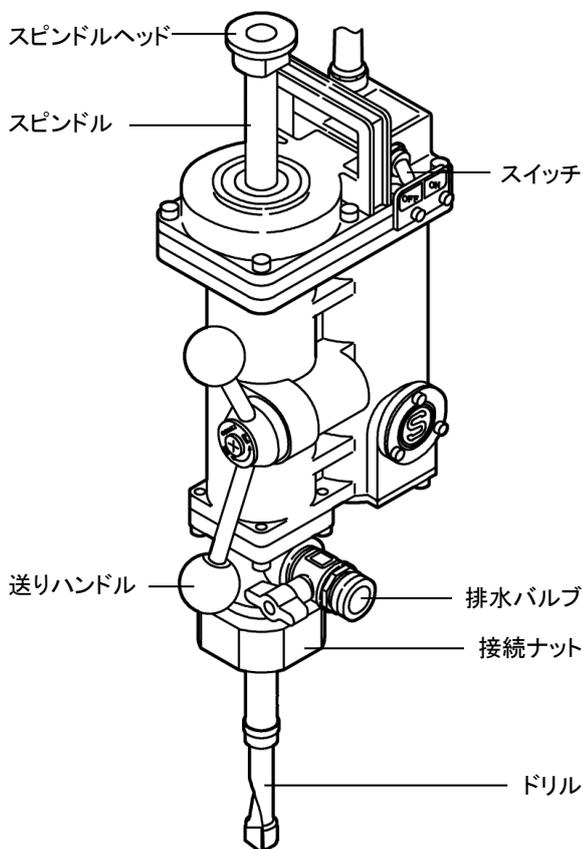
[使用上のご注意]

- ◇ 定格以内でのご使用中、本体に異常な温度上昇があった場合や、パッキンの損傷などがみられる場合は直ちに修理にお出してください。
- ◇ 本体の排水バルブを閉めたまま穿孔を行うのはおやめください。水圧が本体内部にかかることにより削り屑がたまり、それが硬化して故障の原因となります。
- ◇ 延長コードをご使用の際は、穿孔機側を先につなぎ、その後電源に差し込んでください。またキャプタイヤコードは本体と同等以上のものをご使用ください。細いコードや長いコードを使うとケーブルの発熱や電圧降下をおこします。
- ◇ 投げたり落としたりしないでください。
- ◇ 改造及び分解等はしないでください。

[末永くご使用頂くために]

- ◇ 早めにドリルを研磨にお出してください。摩耗したドリルでの穿孔は本体の寿命を縮めます。またドリル自体の破損および故障の原因になります。
- ◇ 使用後はドリルを本体から外してください。錆びたドリルを無理に外すと、ジョイント等の破損の原因となります。
- ◇ スピンドルに砂や泥を付着させないでください。
- ◇ 指定工具以外のご使用はおやめください。

[各部の名称]



[クラッチ機構について]

サドル付分水栓は、製造元や管径により高さが異なります。これを1台の穿孔機で対応させると、スピンドルが長く、機械が大型になってしまいます。そこで本機ではクラッチ機構を採用することにより、無駄送り・無駄戻しを解消しました。

このクラッチの操作を正しく行わないと、完全な穿孔ができませんので、下記の操作方法をお守りいただきますよう、お願い致します。

[クラッチの操作方法]

- ① 送りハンドルを解除方向に、ばねの抵抗を感じるまでいっぱい回し、手はそのまま保持してください。クラッチがはずれ、スピンドルが解除されて片手で軽く上下動できます。
- ② 送りハンドルを手で解除方向に保持したまま、ドリルの先端が管に当たるまでスピンドルをゆっくり押し下げます。
- ③ 解除方向に保持していた手を離し、次に送りハンドルをゆっくりと穿孔方向へ回し、カチッと音がしたらセット完了です。

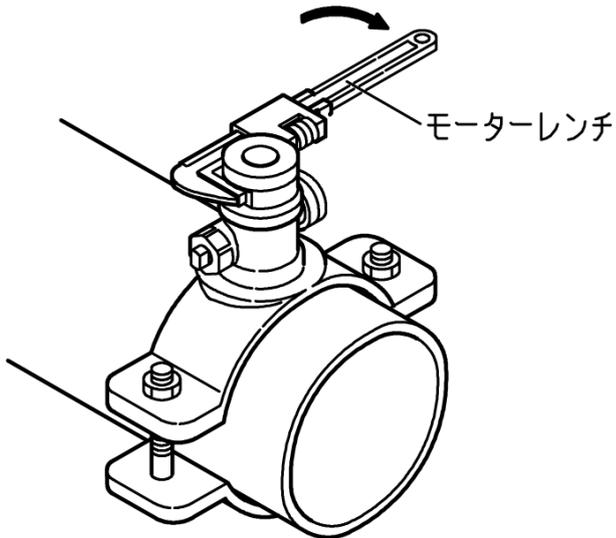
[使用方法]

穿孔準備

1. アダプターの取り付け

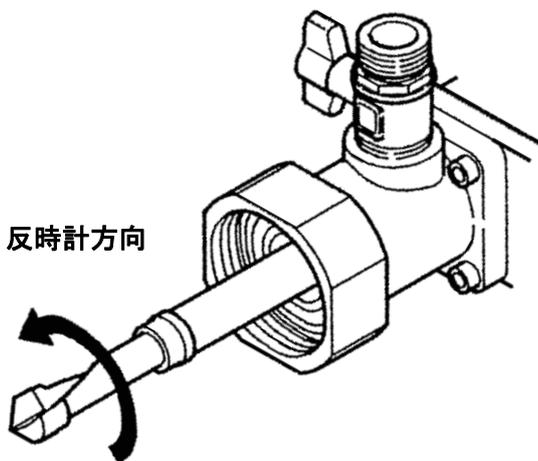
警告

電源プラグはまだ差し込まないでください



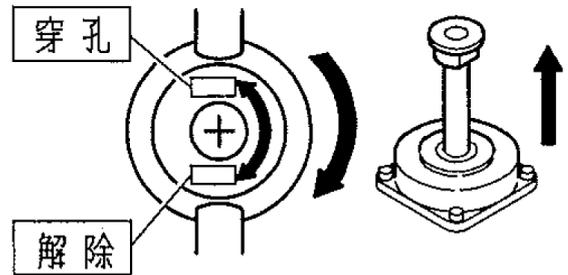
サドル付分水栓に指定のアダプターを確実に取り付けます。

2. ドリルの取り付け



スピンドル先端に指定のドリルを確実に取り付けます。このときネジは反時計方向にねじ込みます。

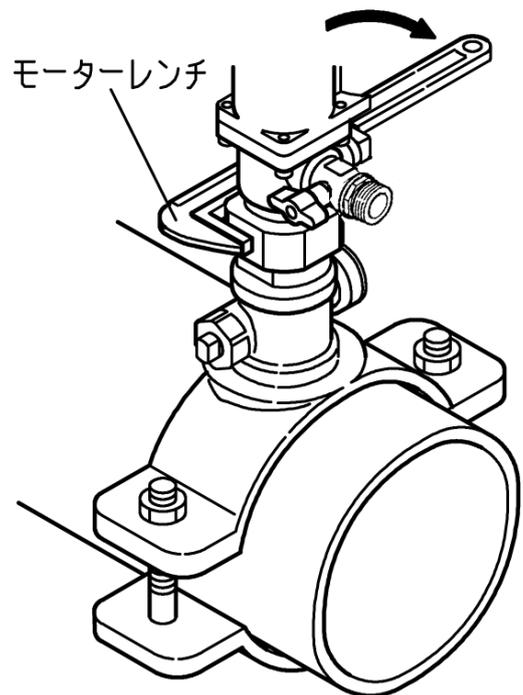
3. スピンドルの引き上げ



送りハンドルを手で解除方向いっぱいまで回し、スピンドルを引き上げます。

4. 接続ナットによる本体の取り付け

アダプターにゴミ等がないことを確認し、穿孔機本体を接続ナットにより確実に取り付けます。



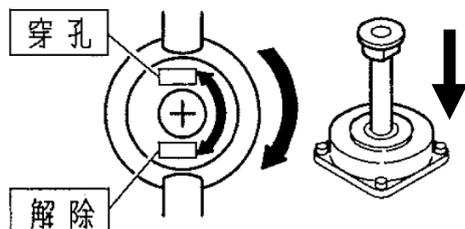
5. 排水ホースの取り付け、 排水バルブの開閉

排水ホースを排水アダプターのバルブまたは穿孔機のバルブに確実に取り付け、排水バルブを開きます。

クラッチ操作

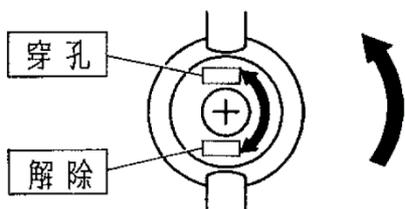
〈P.3 クラッチ操作方法〉に従い穿孔セットします。

1. スピンドル押し下げ



送りハンドルを解除方向いっぱいに戻した状態で、ドリル先端が管に当たるまでスピンドルを静かに下ろします。

2. 穿孔セット



送りハンドルを穿孔方向にカチッと音がするまで静かに回します。

穿孔

1. 電源プラグを差し込み、スイッチを ON にします。



警告

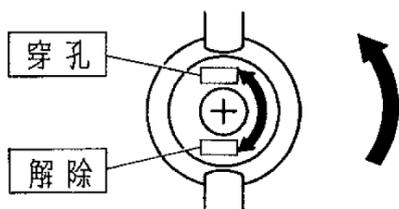
アースを必ず取ってください。

2. 穿孔



警告

スピンドルの巻き込まれに十分に注意してください。



手で送りハンドルを穿孔方向に回しながら穿孔します。この時モーターの回転があまり下がらないように注意してください。

3. スイッチを OFF にして電源プラグを外します。

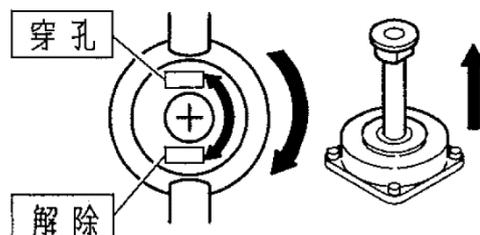


警告

電源プラグを外す際は必ずプラグを持って抜いてください。

終了

1. スピンドルの引き上げ



手で送りハンドルを解除方向いっぱいに戻し、スピンドルを引き上げます。

この時、水圧がかかっているとスピンドルは開放されると同時に高速で押し上げられます。



警告

活管での穿孔の場合、スピンドルは開放状態で水圧により瞬時に上がります。スピンドルヘッドの上方及び周囲に顔や手足を出したり、物を置いたりしないでください。



2. 本体の取り外し

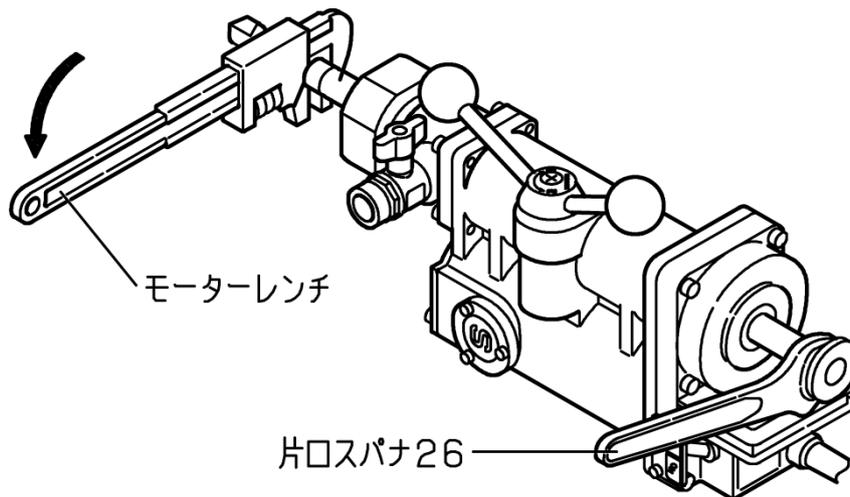
サドル付分水栓を閉じ、穿孔機本体をアダプターから取り外します。

3. 保管

各部品を取り外し、本体と共に収納箱に保管します。



[ドリルの取り外し方]



スピンドルヘッドに片口スパナ26、ドリルにモーターレンチをかけ、時計方向（右回り）に回して外します。

[お手入れ]

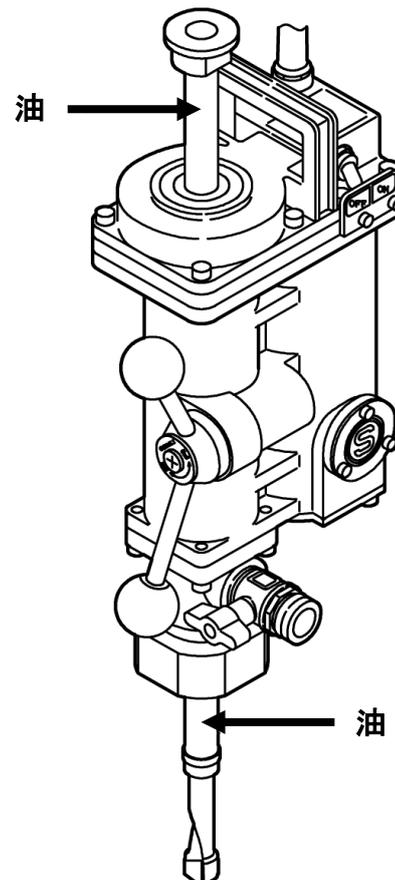
『スピンドル』

スピンドルに付いた砂、泥等は速やかに取り除いてください。また、スピンドルヘッド側に機械油またはエンジンオイル（それ以外の油は不可）を差してストロークいっぱい上下し、汚れを取り除いてください。

一連の作業を2、3回繰り返してください。

⚠ 警告

必ず電源プラグを抜いて作業してください。



[定期点検]

いつも安全に能率よくご使用いただく為に、年1回の定期点検にお出してください。

[仕様]

本 体	電 動 機	単 相 交 流	1 0 0 V - 1 1 A
		周 波 数	5 0 ~ 6 0 H z
		定 格	7 m i n
		無 負 荷 回 転 数	6 5 0 r p m
	能 力	穿 孔 径	(1 3)、2 0、2 5、(3 0)
		穿 孔 ス ト ロ ーク	8 0 m m
		穿 孔 時 間	約 1 5 秒 (G D 2 5 S ドリルによる)
	寸 法	本 体 外 形 寸 法	3 7 1 × 2 1 1 × 1 3 7 m m
		ス ピ ン ド ル 全 長	4 4 4 m m
		本 体 重 量	9 . 6 k g

[標準工具]

名 称	個 数	適 用
片口スパナ 2 6	1	スピンドル
モーターレンチ	1	アダプター、接続ナット、ドリル
排水ホース	1	切粉排出
アース棒	1	

[オプション工具]

名 称	個 数	適 用
フックスパナ	1	GC 3 0 L (P)
片口スパナ 2 4	1	東京都型 2 5
六角棒レンチ 3	1	GC 3 0 L (P)
排水アダプター 2 5	1	東京都型 2 5

[ドリル・カッター・アダプター対応表]

サドル付分水栓	アダプター	ドリル	カッター	備 考
(1 3)	1 3 G S ※	GD 1 3 S ※	—	
2 0	2 0 G S	GD 2 0 S	—	モルタルライニング
2 0	2 0 G S	GD 2 0 S P	—	粉体ライニング
2 5	2 5 G S	GD 2 5 S	—	モルタルライニング
2 5	2 5 G S	GD 2 5 S P	—	粉体ライニング
2 5	TK 2 5	GD 2 5 L	—	東京都型 2 5 用 ジョイント L
2 5	TK 2 5	GD 2 5 L P	—	東京都型 2 5 用 ジョイント L
鋼管 2 5	2 5 G S	—	GS 2 5 S	
(3 0)	3 0 G S ※	—	GC 3 0 L ※	ジョイント 3 0 ※
(3 0)	3 0 G S ※	—	GC 3 0 L P ※	ジョイント 3 0 ※

- ・必要に応じて、アダプター・ドリル・カッターの組み合わせを致します。
- ・※印はオプション設定となります。



本社・工場	〒146-0081 東京都大田区仲池上 2-19-6	Tel. 03-3755-3311 (代)	Fax. 03-3755-1918
関東営業所	〒146-0081 東京都大田区仲池上 2-19-6	Tel. 03-3755-3313 (代)	Fax. 03-3755-1918
東北営業所	〒980-0011 宮城県仙台市青葉区上杉 1 丁目 7-30 17'ゼ'クィ'グ 上杉 309 号室	Tel. 022-217-2360 (代)	Fax. 022-217-2370
東海営業所	〒456-0004 愛知県名古屋市中区熱田区桜田町 13-2 AiRA-2A	Tel. 052-884-2350 (代)	Fax. 052-884-2351
関西営業所	〒650-0025 兵庫県神戸市中央区相生町 4-2-28 神戸駅前千代田ビル 8F	Tel. 078-361-3331 (代)	Fax. 078-361-3533
九州営業所	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東 1-13-9 博多駅東 113 ビル 5F	Tel. 092-292-4607 (代)	Fax. 092-292-4608